



平成 22 年 2 月 5 日

各 位

会社名 株式会社 徳島銀行
 代表者名 取締役頭取 柿内 慎 市
 (コード番号 8561 東証・大証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員総合企画本部長
 花岡 武
 (TEL. 088-623-3111)

平成 22 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 11 月 13 日の平成 22 年 3 月期第 2 四半期決算短信で公表いたしました平成 22 年 3 月期通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(1) 単体業績

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	27,600	2,450	2,100
今回修正予想 (B)	28,550	1,000	450
増減額 (B - A)	950	△1,450	△1,650
増減率 (%)	3.4	△59.1	△78.5
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	28,073	△11,400	△7,093

(2) 連結業績

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	28,100	2,600	2,150
今回修正予想 (B)	29,050	1,150	500
増減額 (B - A)	950	△1,450	△1,650
増減率 (%)	3.3	△55.7	△76.7
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	28,622	△11,243	△6,978

2. 修正の理由

(1) 単体業績

第 3 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）の損益状況は、貸倒償却引当費用及び有価証券減損額は前年同期に比べて大幅に減少したものの、取引先企業の破綻が相次いだこと等に伴い想定以上に貸倒償却引当費用を計上したこと及び保有有価証券の価格等が下落したことに伴い想定外に有価証券減損額を計上したこと等により、経常利益及び四半期純利益ともに損失計上となりました。

こうした第 3 四半期累計期間の損益状況を踏まえ、地域金融機関として、引き続き中小企業者等に対する積極的な貸出運用を行うことに加えて、債券・株式等有価証券について効率的な運用及び売却等による運用益の増強を図るとともに、投資信託・個人年金保険等預かり資産の積極的な販売による役務取引等収益の増強を図ること等によりまして、経常収益は前回予想比 9.5 億円増加となる見通しであります。また、第 3 四半期累計期間では損失計上となっていることから、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図ること等によりまして、通期では利益計上を見込んでおります。なお、経常利益は前回予想比 14.5 億円減少、当期純利益は同 16.5 億円減少となる見通しであります。

(2) 連結業績

単体業績予想の修正によるものであります。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【ご参考】業績の見通し（単体）

（単位：百万円）

	21年3月期 （実績）	22年3月期 （見込）				
		第3四半期 累計（実績）	第4四半期 （見込）	今回修正	前回発表	増減額
経常収益	28,073	21,345	7,205	28,550	27,600	950
業務粗利益	18,303	15,854	5,796	21,650	21,350	300
資金利益	21,845	15,766	5,084	20,850	21,150	△300
役務取引等利益	447	256	194	450	600	△150
その他業務利益	△3,988	△169	519	350	△400	750
うち債券関係損益	△4,096	△391	491	100	△650	750
経費（除く臨時処理分）（△）	14,053	10,461	3,289	13,750	13,950	△200
一般貸倒引当金繰入額（△）	874	1,947	△697	1,250	600	650
業務純益	3,375	3,445	3,205	6,650	6,800	△150
臨時損益	△14,776	△6,511	861	△5,650	△4,350	△1,300
うち与信関係費用（△）	11,162	6,120	△720	5,400	4,050	1,350
うち株式関係損益	△3,442	△121	221	100	50	50
経常利益（△は経常損失）	△11,400	△3,065	4,065	1,000	2,450	△1,450
当期純利益（△は当期純損失）	△7,093	△2,226	2,676	450	2,100	△1,650

（ご参考）

コア業務純益	8,347	5,783	2,017	7,800	8,050	△250
貸倒償却引当費用	12,037	8,067	△1,417	6,650	4,650	2,000
有価証券関係損益	△7,539	△513	713	200	△600	800
うち有価証券減損額	5,895	1,927	73	2,000	1,406	594

- （注） 1. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－債券関係損益
 2. 貸倒償却引当費用＝一般貸倒引当金繰入額＋与信関係費用
 3. 有価証券関係損益＝債券関係損益＋株式関係損益

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。